



岡山市広報連絡資料



令和7年11月25日

「宇喜多氏研究の最前線 2025」 宇喜多直家・秀家と豊臣秀吉 を開催します！

昨年、大好評だった、宇喜多氏を知り、宇喜多氏に学ぶ鼎談会「宇喜多氏研究の最前線」。今年は、3人の研究者が最新の研究結果を盛り込みながら、宇喜多父子と令和8年の大河ドラマでも注目を集める天下人・秀吉の関係性に迫ります。

1 日 時

令和7年12月6日(土)13時30分～15時 (12時30分開場)

2 場 所

岡山コンベンションセンター・コンベンションホール(北区駅元町)

3 定 員

700名

※事前申込不要・先着順

4 料 金

無料

5 出演者

- 森 俊弘 氏(岡山地方史研究会 会員 戦国宇喜多家を顕彰する会アドバイザー)
- 大西 泰正 氏(石川県金沢城調査研究所 所員 戦国宇喜多家を顕彰する会アドバイザー)
- 内池 英樹 氏(岡山県立博物館 副館長 戦国宇喜多家を顕彰する会アドバイザー)

6 備 考

ご来場いただいた方には、宇喜多家の人物と県内外29市町関連史跡を紹介する「宇喜多プロジェクトパンフレット」、オリジナルの「宇喜多クリアファイル」をプレゼントします。

【問い合わせ先】

岡山市 観光振興課 水岡・風早 直通086-803-1332 内線4532・4533

宇喜多氏研究の最前線2025

宇喜多を知る
宇喜多に学ぶ

宇喜多直家・秀家と 豊臣秀吉

開催決定!

昨年、大好評だった鼎談会「宇喜多氏研究の最前線」の今年のテーマは、宇喜多父子と豊臣秀吉。

秀吉と友誼を結び、一族の将来を託した直家。秀吉最愛の養女・樹正院(一般的に豪姫とも言われる)を妻とし、五大老の一人として最後まで忠義を尽くした秀家。来年の大河ドラマでも注目を集める天下人・秀吉は、宇喜多家の命運を左右した存在と言っても過言ではないのでしょうか。

直家に詳しく述べ、『現代語訳 美作太平記』を監修した森俊弘氏、秀家に関する著作も多い大西泰正氏、『現代語訳 備前軍記』『現代語訳 備中兵乱記』を監修した内池英樹氏の3名が、最新の研究成果を盛り込みながら宇喜多父子と秀吉との関係性に迫ります。宇喜多氏を知る、宇喜多氏に学ぶ鼎談会にぜひお越しください。



森
俊
弘
氏
岡山地方史研究会会員



大
西
泰
正
氏
石川県金沢城調査研究所所員



内
池
英
樹
氏
岡山県立博物館副館長

Profile 1971年、東京都生まれ。専門は岡山県地域の戦国時代史、特に備前宇喜多氏。主な著書に『美作町史』『鏡野町史』通史編(中世後期担当)、論文に『岡山藩士馬場家の宇喜多氏関連伝承について』(『岡山地方史研究』95)、『戦国・織豊期における宇喜多氏の家中編制(1)~(3)』(同151、2、7)がある。今年、『現代語訳 美作太平記』を監修。

Profile 1982年、岡山市生まれ。京都教育大学大学院修了。主な著書に『豊臣期の宇喜多氏と宇喜多秀家』(岩田書院、2010年)、『論集 加賀藩前田家と八丈島宇喜多一類』(桂書房、2018年)、『豊臣政権の貴公子』宇喜多秀家』(角川新書、2019年)、『宇喜多秀家』(平凡社、2020年)などがある。

Profile 1972年、広島市生まれ。岡山大学大学院教育学研究科修了。主な編著書として『石谷家文書 将軍側近のみた戦国乱世』(吉川弘文館、2015年)がある。2022年には、『現代語訳 備中兵乱記』『現代語訳 備前軍記』(山陽新聞社、2022年)を監修した。

2025年12月6日[土]

時 間: 13:30~15:00 [12:30 開場]

会 場: 岡山コンベンションセンター・コンベンションホール
[岡山市北区駅元町14-1]

定 員: 700名 [※事前申し込み不要・先着順]

料 金: **無料**

問い合わせ先

山陽新聞社地域プロデュース局事業本部
TEL 086-803-8015

主催: おかやま城下町物語実行委員会
(岡山市、おかやま観光コンベンション協会、山陽新聞社)